

企画事業「青少年を対象とした事業」

「子どもエコキャンプ」

①ボランティアステップアップ研修「笑顔！応援シタイ！！」

平成21年11月21日（土）～11月22日（日）（1泊2日）

②子どもエコキャンプ

平成21年12月25日（金）～12月27日（日）（2泊3日）

後 援 御殿場市・裾野市・小山町各教育委員会



I 事業の背景

- ①「富士のさとボランティア・スクール」参加者が、更なるステップアップを目指し、12月に行う「子どもエコキャンプ」に参画する。
- ② 少年と青年が同一事業に参加することによって、各年代における役割や責任を認識する機会とする。

II 事業の概要

1 趣 旨

キャンプを通じて、子どもたちの責任感・自立心を醸成するとともに、青年リーダーとして必要な資質・能力を育成する。

2 参加対象

- ①ボランティアステップアップ研修 高校生から30歳未満の青年 約10名
- ②子どもエコキャンプ 小学3～6年生 約80名

3 参加状況

①ボランティアステップアップ研修（人）

	男性	女性	計
10代	1	5	6
20代	4	1	5
計	5	6	11

②子どもエコキャンプ（人）

	男子	女子	計
3年生	10	9	19
4年生	14	13	27
5年生	14	13	27
6年生	2	5	7
計	40	40	80

4 企画のポイント

(1) ボランティアステップアップ研修

①運営のポイント

ボランティアが参画することによって、「子どもエコキャンプ」を運営していく上での意識の向上を目指した。

②安全管理のポイント

準備作業を行うに当たって、二人一組でバディを組み、互いに安全管理を行っているか点検を行った。

(2) 子どもエコキャンプ

①運営のポイント

小学生を学年・男女バランスよく4グループに分けることによって、学年や男女の役割を明確にした。

②安全管理のポイント

事前打ち合わせを十分に行い、安全のための留意事項や考えられる危険な行動などのシミュレーションを行った。当日は青年ボランティアを2～3人、各グループのリーダーとして配置し、安全管理や健康面の管理を行った。

5 実施状況・参加者の様子

1 2月25日《1日目》

- 木を切る
- 穴掘り・炭づくりについての話



【炭焼きに使う丸太切り・・・大丈夫かな？】

1 2月26日《2日目》

- 炭づくり
- わくわくタイム（サンタ衣装づくり）
- 炭の話、炭で花火づくり



【きれいに並べて焼きます】

1 2月27日《3日目》

- 窯あけ
- 自分たちで作った炭でのバーベキュー



【火起こしのために井桁を組みます】

- ・本番中は大変なことが多かったが、皆で協力することで無事終わることができた。今の達成感が味わえて良かった。
- ・子どもたちに多くの体験をさせてあげられる良い活動が多かった。
- ・子どもと共に自分も成長できた。（ボランティア）

- ・ボランティアのお兄さんお姉さんはみんなのことを考えてくれて良かった。
- ・自分たちで考えたメニューを作りたい。
- ・炭はいろいろなものに使われているのだということが分かった。（小学生）

Ⅲ 成果と課題

1 成果

ボランティアの事前研修をしっかりと行うことができた。その結果、ボランティアが当日の流れを十分理解していたため、活動が安全かつスムーズなものとなった。また、ボランティア主導で運営する時間を組み込むことによって参画の意識が芽生え、「自分たちがやらなければいけない」という責任感が向上した。ボランティアハウス「和」の整備によって、安全性が向上するとともに子どもたちに仕事を均等に割り振ることができた。

2 今後の課題

ボランティアの事前研修の中で、道具の使い方などを指導する内容があった方が良かった。

80名のキャンプを安全に行うには、20名程度のボランティアが必要であると考え、11名で行うこととなってしまった。ボランティアを育てていく工夫が必要である。

担当：企画指導専門職 遠藤 貴光